細腕なんて言わせない!!

289

〝常に前向きで頑張りたい〟

「農の活性、ブランド化も」と語る　小松　ひと美さん

■ナコソ青果サービス社長
■いわき市錦町ウツギサキ八ノ一

電話／〇二四六―六三―六一一三

「常にいいものを提供したいですね。食材の効果や食べ方についても啓蒙、推進を。伝統文化の大切さもアピールしたい」と、真摯（し）に続ける小松さん

度量が広く、さほど小事にこだわらないことを指す言葉に、豪放磊落（らいらく）というのがある。

一般的には〝男性用語〟としてよく用いられる熟語だが、この小松ひと美さん（六一）、一部は当てはまるようだが、本質的には繊細な部分がウエートを占めている。事業に通ずる野菜ソムリエの資格をも取得し、日本の伝統文化にも深い造詣を持つ〝パワーウーマン〟でもある。

小松さんの会社、ナコソ青果サービスは、野菜や果物といった青果物を扱う卸小売業が中心。「新鮮・安心・安全」には特別気を配り、提供を続けている。

こうした一連の食材の供給先は、学校給食センター、幼稚園（保育所）、介護施設、スーパー、近隣の民間事業所、さらにはレストランを含む飲食店など、そのエリアは、大半が市内。

社の代表として指揮を執る小松さんは、毎朝、六時半には会社に入る。

「商品は毎朝、水戸の市場から搬入されてきます。私は、朝、社に入ると、注

野菜ソムリエとして食文化の啓蒙、推進

「文化を大事にしたいですね」

文書を確認したり、商品をそろえて段ボールに詰め込んで…。社員と同じことをやってます」

豊かな自然、次世代に

彼女が今の会社を受けたのは、今から十九年前の平成十二年の四月だった。元々敷地内にある、青果物卸売業、勿来中央青果地方卸売市場を母親の貞子さんが社長として務めていたことから、手伝いを続けていた小松さん自身、この業界にはさほど違和感もなかったようだ。

その後、彼女は結婚、二児の育児期間を経て、四十八歳の時、今の会社である同サービスの二代目代表に就き、長男の一生さん（三七）は貞子さんに代わって同市場の社長となった。

小松さんは、「納品先である飲食店やスーパーなどは土・日曜もやっていますので、うちの場合、こうした日の休みは難しいんです。でも、変則的ですが、社員には週休二日をとってもらっています」と話す一方、「私も連休はありますけど、連休とはいえ、その初日はいつも通り朝には会社へ。しかし、この日の夕方ばかりはホッとするんです。明日、休めるんですから」と、大きな笑顔を浮かべながら続けた。

この小松さんはこのほか、二つの役を抱え、奮闘している。一つは、日本野菜ソムリエ協会認定の野菜ソムリエとしての活動。食材の効果、食べ方、食育について啓蒙（もう）を続けており、「日本の食文化は素晴らしいものです。野菜、果物などに加え、味噌（みそ）なんかもそうですし」と、力説する。

もう一つは、「地域農業の活性化、地元農産物のブランド化」。これらの軸の一つとなる、いわきオリーブプロジェクトの一員として多くの仲間とともに、「豊かな自然を次の世代に残すため」の諸運動に余念がない。

先の大震災の折は、「野菜は、農業はどうすればと…と、いろいろ考えましたねぇー。でも、前向きにと切り替え、つらさは忘れるようにしました」と、これまで歩んできた道、震災時を振り返りつつ、「問題が発生したら常に前向きで頑張る。これしかないですよ」と強調し、自信の笑顔を見せた。

プロフィル

こまつ・ひとみ

1958年9月7日、勿来町生まれ。日本の食文化、伝統文化の大切さを踏まえ、「良さを見直さないと。そして、いいものを伝えなければ」。伝統文化を残す一環として社では「正月飾り」も製作。茶道のキャリアは、ざっと30年以上で、関連の器類も豊富。「この夏には初孫の誕生予定も」と、にっこり。得意な料理は、「ビーフシチュー」。A型

※このコーナーは隔月掲載です。

■お知らせ＝このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

秋の茶の湯道具展 ～千家十職からお稽古用品まで～

❖ 会期：9月19日(木)～30日(月)

眞清水藤六作・手桶水指

時代物・千家十職・お家元書付作品などの逸品物からお稽古用品まで、水指・茶碗・釜・掛軸・棚・花入など三百余点を一堂に展示、特別価格にて大奉仕致します。
ぜひこの機会にご来店くださいますようご案内申し上げます。

加藤芳右衛門作・赤織部香茶盌

お稽古用品 三割引

有限会社 小野美術
■営業時間／午前10時～午後6時（最終日は午後5時閉場）
いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F
〈TEL&FAX〉0246-35-0383
〈HP〉 http://onobijutsu.jp
〈e-mail〉 onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp